

## 第 29 回 長野県移動性・安全性向上検討委員会 議事要旨

### 1. 開催概要

□開催日時：令和 8 年 3 月 12 日（木） 14：30～

□開催場所：国土交通省 長野国道事務所会議室

□議事次第

1 開催挨拶

2 委員紹介

3 議事

1. 長野県における交通渋滞対策について

- (1) これまでの検討状況
- (2) 主要渋滞箇所の解除
- (3) ピンポイント渋滞対策
- (4) 今後の予定

2. 長野県における交通安全対策について

- (1) これまでの取り組み経緯
- (2) 長野県内の幹線道路交通事故対策
- (3) 生活道路への取り組み
- (4) 通学路への取り組み

3. その他

## 2. 質疑応答：長野県における交通渋滞対策について

- : 説明・意見・質問・要望
- : 回答

### (2) 主要渋滞箇所の解除について

#### 【委員】

- 解除候補箇所の2箇所について、現地踏査や道路管理者・事業者へのヒアリングを整理されており分かりやすい。神明広田交差点は先詰まりの影響が大きく、交差点単体で何か対策をすれば解決するという話ではないと感じているため、事務局から提案されている「継続監視」という判断は妥当だと思う。また、長野インター南交差点は現地確認・ヒアリングともに渋滞未発生ということで解除する判定は適切だと感じた。

#### 【委員長】

- 神明広田交差点は現行の解除ルールで整理すると、「対策検討」に進むことになる。一方で、今回の資料では「継続監視」という表現になっており、解除ルールと資料の整理に齟齬が生じているがいかがか。

#### 【事務局】

- 神明広田交差点について解除ルールにあわせて「対策検討」に修正する。

### (4) 今後の予定について

#### 【委員長】

- 主要渋滞箇所の取り組みについて、10年以上実施してきており、どのような場所でもどのような対策が効果を発揮しているか整理することで、今後の対策検討に活かしていくことができると思う。

## 3. 質疑応答：長野県における交通安全対策について

- : 説明・意見・質問・要望
- : 回答

### (2) 長野県内の幹線道路交通事故対策について

#### 【委員】

- P.16 の意見照会結果について、事故件数が減っても「まだ事故が多いと感じている」、「安全対策を引き続きお願いしたい」というご意見が目立った印象を受けた。意見照会の事前に地域住民との協議の場を設けるなど、きめ細かく合意形成をすることで、

意見照会結果に結びつくかと感じた。

**【事務局】**

- 意見照会結果には地域住民からの意見も反映されているが、地域住民からの意見を汲み取りながら、こういった形で合意形成できるかについては、今後、検討していく。

**【委員】**

- 長野県の事故特性と R7 新事故危険区間の抽出基準について、P.22 の「近年では出会い頭事故・横断中の事故が増加傾向にあるため、今後は重点的に対策を強化していく必要がある」という点が極めて大事なポイントだと感じた。そうすると、次の P.23 で R7 新事故危険区間の抽出時に、出会い頭事故・横断中の事故が多い箇所はより優先順位を上げるのかなど今後の扱いについて伺いたい。

**【事務局】**

- P.4 の優先度の設定フローに基づいて優先度を選定するのが基本だと考えている。

**【委員】**

- それでは P.22 は何のためのページか。P.23 「C. 特徴的な区間」において、当該内容は⑨・⑩として追記されるものと受け取れる説明であった。C.特徴的な区間の項目は、固定ではなく事故の傾向と合わせて変更するものだと感じているので、参考にしていただければと思う。

**【委員長】**

- 出会い頭事故・横断中の事故は、おそらく死亡事故としても発生しやすいので、A と B とにも重複して該当する箇所もあるが、漏れてしまう箇所も当然出てくると思うので、工夫して抽出基準として設定できると良い。

**【事務局】**

- いただいたご意見を踏まえ、検討させていただく。

**【委員】**

- 「今後は重点的に対策を強化していく必要がある」という部分は、そのために何をすべきかという段階までご検討いただくとありがたい。出会い頭事故の分析結果や横断中の事故が発生しやすい特徴を踏まえ、それがうまく現在の項目の中に収まるか、もしくは新しい項目を追加するか、整理していただければありがたい。

**【委員長】**

- 事故危険区間を選ぶのが終点ではなく、選んで何をするかというのが大事である。今回、どうやって選ぶかしか考えてなくて何をすることがないため、ご検討いただきたい。
- P.21 の R7 新事故危険区間の抽出基準について、これまで長野県平均の 5 倍の死傷事故件数は、6 件/4 年以上だったが、3 件/4 年に下がっている。この抽出基準に変更することで良いか。

**【一同】**

- 了解した。

**【委員】**

- P.33 の長野市川中島町御厨地区は、渋滞がいつも発生している印象があり、事故対策と渋滞対策を合わせて実施するとより効果が出るのではと感じた。ただ、事故対策は緊急を要する場合もあるので、うまく渋滞対策と絡めてご検討いただけるとありがたい。

**【委員長】**

- P.23 のフローでは、事故危険区間外が抽出基準を満たさない場合の矢印がなく、全てモニタリング対象区間に該当することになっている。モニタリング対象区間の「現行基準では事故危険区間に該当しないが、経年的な事故データの推移を確認する区間のこと」とあるが、ほとんどの区間が該当することになるが、そういう解釈でよいか。

**【事務局】**

- フローに事故危険区間外で抽出基準を満たさない場合の矢印を追加し、ピラミッドの一番下に事故危険区間外に該当するように修正させていただく。

**【委員長】**

- 審議事項である R7 新事故危険区間のフローについて、事故危険区間外で抽出基準を満たさない区間は、また事故危険区間外に行くというフローに書き直していただくこと、出会い頭事故・横断中の事故をうまく抽出基準に取り入れていただくということによろしいか。

**【一同】**

- 了解した。

**【委員長】**

- 修正したフローは、皆さんに確認していただくこと。

**【事務局】**

- 了解した。

**【委員長】**

- P.19 の総合評価フローの見直しについて、前回の委員会までは、地域の意見確認の結果、「解除が妥当でない」と回答された箇所を全て追加対策検討とするフローとなっていたが、「解除が妥当でない」と回答された箇所のうち、特に追加対策の必要性が確認された箇所は追加対策検討へ進み、それ以外の箇所は経過観察に進むというフローに変更することによろしいでしょうか。

**【一同】**

- 了解した。

会議状況写真

